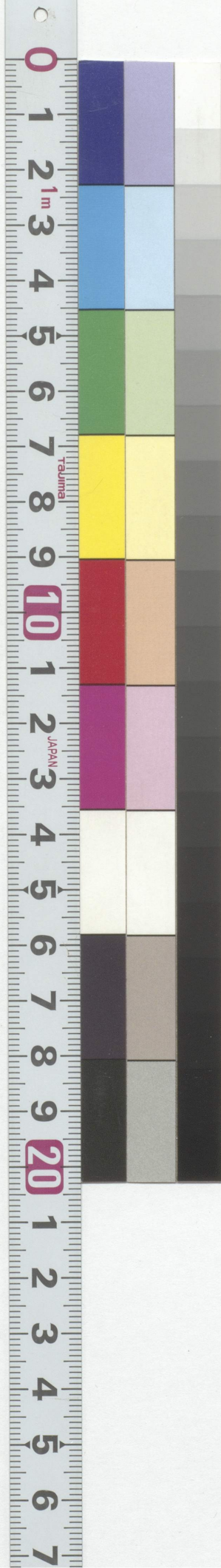


摘要算法

一





武田無量齋源 真元関  
岡田真游齋菅原忠貴撰

# 摘要算法 八冊

此書ハ銀錢贋買糴布尺斤財助材木割知行物成差分盈朒均喻方裡田  
機を入子算の類より九歸平法正肩加入減去相乘相消傍各立一真元天元の  
諸術平方立方方算管諸術重方并真元圓解諸術通術倍角率表冊平方高數  
輕題難題至其術悟了安かめ童見女子たり此書に因て術路と索  
め解義捷徑として上達速なり云々

序



數之爲術古昔聖人  
列諸六藝立法學官  
上自王侯下至庶民  
不可不講習也豈止

摘要算法 卷之八



商賈交易出納乘除  
之用乘強然行遠自  
邇登高自卑幼童初  
學者志於數則宜以  
乘除爲先也已先哲

所著之書汗牛充棟  
然繁者失於繁簡者  
失於簡而未見便於  
初學者予有慨於茲  
頃撰算書八卷名曰



摘要算法此編導引  
彙示以捷徑非欲供  
大方之觀覽也若夫  
童蒙由此而進焉則  
自乘除及曆算究萬

物之精微盡天地之  
變化何難之有是乎  
著此編之意也  
弘化二年歲在乙巳  
八月望日



浪華岡内真游齋  
菅原忠貴



磬谷富永保書



摘要算法目錄

卷之一

銀錢賣買之算

金銀賣買之算

米賣買之算

柴薪賣買之算

絹布之賣買

尺直算

茶賣買之事

酒賣買仕込算

煙草賣買

唐目斤早掛割算

卷之二

藥種賣買算

白目斤割

百八十斤早割

材木廻算

同才割法

知行物成之算

差分術

盈胸

均喻



方程

杉久入算

入子算

卷之三

拼積之法

卷之四

田地積

卷之五

千石舟造作之寸法

檣竿請勾配取事 太戸袋之積算

格子并障子又釣算算

九歸関平方

卷之六

正員之变

真元術格式定例

加入

減去

相乘

相消

傷書例

立一算格式

天元術

真元比例術

卷之七

索隱天元術

平方式

立方式

翦管術起源

除乘翦管術

買物涉收積之算

油量分算

以以以文補以算

重力算法

卷之八

真元術圖解

平方堵角通術

倍角率表

関平方商數

輕題雜俎



摘要算法目錄終

摘要算法卷之一目錄

銀錢賣買之度

一丁

金銀賣買之度

二丁

米賣買之度

五丁

柴薪賣買之度

九丁

絹布之賣買

十一丁

尺直一算

十五丁

糸賣買之度

同

酒賣買并仕込算

十七丁

煙草賣買

二十丁



唐目斤早掛割算

廿二丁

摘要算法卷之一目錄終

摘要算法卷之一

攝陽武田無量齋源真元閱

岡田真游齋菅原忠貴撰

根淺賣買之度

今淺三千五百貫文あり浅お庭拾五厘之うく代根何程と白

答曰 根高三拾五貫百七拾五文

初曰浅高三千五百貫文と云く浅お庭拾五厘と云く根

高三拾五貫百七拾五文と云くなり

今浅五拾五文百七拾二文あり浅お庭五文四分と云く此根高何程と白

答曰 根高五百拾八文六分四厘五毛



御日残る五枚五貫百七枚二文と五七枚二文計九六枚割八十五  
百七枚五文と必お應九文四分とよき浪五枚八文六分四厘五毫と必  
今浪四貫八百枚九文二分あり浪お應九文四分とよき此浪何とよ

答曰 残る四百八拾貫文

御日浪る四貫八百十九文二分と五浪お應九文四分と必除  
けハ残る四百八拾貫文と必なり

今浪三枚四文五分あり五毛と浪お應九文八分とよき此浪何とよ

答曰 残る三貫五百二十四文

御日浪三十枚五文五分あり五毛と浪お應九文八分と必除けハ  
残る三貫五百五文と必けハ五文計九文六分とよき五貫九十四文と必

今浪四貫八百枚九文二分の五浪残る四百八十枚五文と必此浪お應何とよ

答曰 浪お應拾文四厘

御日残る四百八枚五文と必 百文より下ありハ  
九六文除くべし 浪四貫八百十九文

二分と除けハ浪お應九文四分と必なり

今浪五拾二文五分あり五文と付浪九十五文と必此浪お應何とよ

答曰 残る四貫九百八十四文

御日浪る五枚二文五分と五九十五文と必 百文より下ありハ  
五文の目よりハ 四百八拾

七文五文と必此八枚七文五分あり五文と必此浪お應何とよ

今浪百八拾五文の五浪残る四百八拾五文と必此浪お應何とよ

答曰 浪る五文付浪百五文



御同残高枚のち四百六十一文と並百文の上へ九文とつけ十八文百八十五文とぬとぬる百八十五文とぬる除る百文とぬる四文の目とぬる百文とぬる

今残指九や四百六十文とぬる一文と付残百五文とぬる此浪何程とぬる

言曰 浪高百八拾五文

御同残高枚のち四百六十一文と並百文の上へ九文とつけ十八文百八十五文とぬとぬる百五文の内四文の目とぬる九十六文とぬる百文とぬるとぬる実と除ける浪高百八十五文とぬる

金浪賣買之算

永金之度	二朱 一二五	一步 二五	二朱 一二五	一步 二五
二歩 五	二朱 六二五	三歩 七五	二朱 八七五	三歩 八七五

今金十五文二歩二朱あり金お六十五文とぬ此浪何程とぬ

言曰 浪高を費枚五文六分二厘五毛

御同金高十五文二歩二朱とぬ 二歩二朱ハ永六二五とぬ 金お六十五文とぬ

金けとぬるを費十五文六分二厘五毛とぬる

今浪二費四枚文と金お六十四文八分とぬ此金何とぬる

言曰 金高とぬるを費二朱ト又浪六文九分

御同浪高二や四十八文と並金お六十四文八分とぬる百文の石と除ける高と三十一文と又三十一文二分とぬるけと三十文とぬる一けの上へ進め並お六と四割の十六文二分とぬるぬる右のと三十一文二分と一けと除ける高とぬる又ぬる



十五文とみと又十六文二かゝ一ちと除るは高五と出る極は  
除るハ 五ハ并一歩のせり 残るは六文九かとみたり

今銀二貫四十九文の如く令三十一文を歩二朱と又銀六文九  
か来るは令お應何程とる

答曰 令お應六十四文八か

御田銀二貫に於くと並内端銀六文九かと藏二文三十一文とみ  
実とて令る世と一歩二朱 一歩二朱ハ永  
と七五と重 とみと除けは六文九かとみたり

令六十七文と令る六十五文四か残お應十文五かとて此残何程とる

答曰 残る四百三十六貫文

御田令る六十七文とて令る令お應六十五文四かとては四文と百八十

文八かとみ残お應六文五かと除けは残る四百六文五かとみ

今只残九文二百九文とてとて並百文と四文残と買とて並百

文とて付只残三文四文残百文 只残は  
四百文と 付只残十二文の利

残を引拂ふと並百より四文残ハ倍數とて何程とる

答曰 當百残三文文 引と十文

四文残六文文 引と五文

御田只残九文二百九文とてとて並百より上へ九六とみけハ

九文二十五文とみ① 引と百文とて利残三文と除けハ〇文

〇文とみ② 引と十文と倍とて百文と除けハ〇文〇六五とみ

③ 引と九六と倍とて二文八文とみ④ 引と十文⑤ 引と十文



とお併へて二文九七五とみぬ①戸八の九百二十五文と除  
けの百の數三十枚とみ倍之てに文六の六文とる

今只残十七の八百七文とみぬ①戸百残とに文六と買とに百を  
付只残五文に文六百文と付①戸只残十五文の利残を引拂ふと  
百よりに文六の五文とみぬ①戸百残及ひ四文残何れとる

答曰 四文残六文 戸數を以て五百文

百百残拾を文戸數百枚枚

例曰只残拾七の八百七文とみぬ①戸内五文と減①戸二の八百七文  
とみ百文より上へ九文とみぬ①戸二の二百九十五文とみ①戸と  
五文と五文とみぬ①戸と除き二百五十五文とみぬ①戸と減

十二の四十五文とみ①戸とに十五文と四百文と除き三百七十五文  
①戸とに百文とみぬ①戸と五文と除き五文とみ①戸とに九文と倍  
を文の二文とみ①戸と加ふと①戸と除けの四文残六文とみぬ

米賣買之算

今米一石の相應八十二文五分とみぬ①戸二十五石の代銀何れと同

答曰 銀百拾費二百十二文五分

例曰米お應八十二文五分とみぬ①戸米百二十五石と乘①銀  
の百十二文五分とみぬなり

今米一石のお應八十二文五分の時銀十の二百十二文五分 米何れと同

答曰 米百二十五石



御、同、浪、高、於、以、之、百、十二、文、五、分、と、並、く、お、庭、八、十二、文、五、分、と、併、  
除、け、ば、米、百、二十、五、石、と、なる、なり

一、浪、於、以、之、百、十二、文、五、分、と、併、く、米、百、二十、五、石、と、買、ひ、此、一、石、付、お、庭、何、なる、  
答、曰、 米、相、庭、八、十二、文、五、分

御、同、浪、十、以、三、百、十二、文、五、分、と、並、米、高、百、二十、五、石、と、併、除、く、ハ、米、  
お、庭、八、十二、文、五、分、と、なる、なり

米、お、庭、七、十五、文、の、と、此、浪、三、十、四、文、五、分、ハ、米、高、何、なる、買、と、向、  
答、曰、 米、高、四、十、六、分

御、同、浪、三、十、四、文、五、分、と、並、く、米、お、庭、七、十五、文、と、併、除、く、ハ、米、  
高、四、十、六、分、と、なる、也

一、米、一、石、付、お、庭、七、十五、文、之、ハ、時、米、四、十、六、分、買、と、此、代、浪、何、なる、同、

答、曰、 浪、高、三、十、四、文、五、分  
御、同、米、お、庭、七、十五、文、と、並、米、高、四、十、六、分、と、兼、て、代、浪、三、十、四、文、  
五、分、と、なる、なり

一、米、三、百、石、あり、浪、百、文、付、一、石、二、十、五、分、之、ハ、此、代、浪、何、なる、と、曰、

答、曰、 代、浪、二、十、四、分、同  
御、同、米、三、百、石、と、並、一、石、二、十、五、分、と、併、除、く、ハ、代、浪、二、十、四、分、同、と、  
知、る、なり

一、米、三、百、石、の、代、浪、二、十、四、分、同、なり、浪、百、文、付、米、何、なる、と、向、

答、曰、 一、石、二、十、五、分



御同米高三百石と並代銀二十四貫目と低く除之六百石付米  
一石二斗五升と知るなり

黒米一石付代銀七十六文白米一斗五升減なりより込並  
代何程あると向

答曰 一斗代銀八文

御同一石と並内五升と減く九斗五升とより低く七石六文と除  
け一斗代銀八文と知るなり

一石米を代銀七十九文八分と辨五升と出わり積こき並  
代何程あると向

答曰 一斗代銀七文六分

御同一石と並五升を加へ一石〇五升とより七石六文八分と除  
け一積こき並一斗代銀七文六分と知るなり

一斗米を代銀八文八分と辨一斗七升とより一斗付五合  
と増を加へ黒米高何程あると向

答曰 米高二十一石

御同米を斗と並増米五合を加へ一斗〇五合とより低く  
七斗七升とより一斗七升八斗五合とより米お庭八十石と  
除く八米高二十一石と知るなり

一斗五升目とより上下の米を二斗上米一石とお庭八十石と米二  
お庭七十五石より上より下は石かし上下米高各何程あると向



上米三十石一斗二升五合  
下米二十九石一斗二升五合

御、田下米おび七拾五斗と申す上下米石数差四石と申し之を月  
とみ張るのみ月と申す五斗三百斗と申す実と以て上下米お庭令一  
百六十斗と申す法として之を實と除き上米卅三石一斗二升五合と  
内四石を減し余り下米廿九石一斗二升五合と申すなり

一銀を以て月と申す米六石麦八石と買ひ此米麦中並一石の代銀  
七拾二斗五合なり米麦各々おび何程と申

答曰 米お庭八十斗  
麦お庭六十斗五合

御、田なる並おび七十二斗五合と倍して百に十五斗と申す麦八石を  
系一に百六十斗とみ内張るのみ月と減し残り百六拾斗とみ実と  
麦八石の内米六石を減しのより二石と申す法として實と除けり米お  
庭八十斗と申すなり

一銀を以て月二十斗と申す米麦大豆の之を實と以て米一石八十斗  
なり麦一石八十斗大豆一石七十二斗米より麦八斗五石より米より大豆  
八斗石よりとみ各々石数何程と申

米十五石  
麦二十石  
大豆十二石



例、旧銀高三、七、百廿四匁と有る並米麦差の五匁、麦おび八十五匁と  
東、四百匁と有る、銀高、一匁減、又米大豆の差の三匁、大豆おび  
七十二匁と有る、二百十六匁と有る、右、四と加へ、三、五、百四十四匁と有る、  
とて米麦大豆おび相併へ、二百三十八匁と有る、然る實を減ち、  
米高十五匁と有る、余ハ明之、とて知る、

一米八石麦九石代二口の代銀合、一、二、百六十五匁と有る、米十三石と  
之、一、七、麦十七石と有る、米麦一石の代銀何と有る、

答曰 米相庭八十五匁  
麦おび六十五匁

例、旧銀高一、二、百六十五匁と有る、麦おび八石と有る、廿、五、百匁と

と有る、米八石、麦十七石と有る、として、百廿六石と有る、右、並、又、米  
十三石と麦九石とお、一、七、百十七石と有る、右、二、百五十三石  
と有る、法、とて、實と減、米十三石の代銀八十五匁と有る、米十三石と  
有る、とて、麦おび七石、除、米一石、付、六十五匁と有る、

柴薪賣買之算

一薪を掛、代銀五匁五匁と有る、として、二十五掛、代銀何と有る、

答曰 代銀百九十二匁五匁

例、旧三十五匁と有る、並一掛、代銀五匁五匁と有る、掛、五、百九十二匁  
五匁と有る、

今、薪を掛、付、五、八、分、と有る、薪を、銀、二、百、匁、と有る、何と有る、



答曰 薪六十五掛

御田銀三百十二文と並く一うけく代銀は八分と並く除き薪六十五掛と並く

一銀三百十二文と並く薪六十五掛と並く一掛く並く何分と並く

答曰 一掛は付は八分

御田銀三百十二文と並く薪六十五掛と並く除きと並く代銀は八分と並く何分と並く

今薪漢目と並く三百ヶ貫と並く

薪漢目一掛 二十二ヶ目

何目と並く何分と並く

同何目一掛 二十ヶ目

答曰 三百三十掛

御田薪銀三百掛と並く並定法二と並く何目の薪銀と並く

今船一艘毎、薪四ヶ掛積来る船と並く何ヶ掛一うけく代銀

と並く何ヶ掛一艘毎、船賃銀四百文と並く何ヶ掛一艘毎の代

金六十八文と並く船賃銀二百文と並く何ヶ掛一艘毎の代銀

と並く何ヶ掛一艘毎、船賃銀二百文と並く何ヶ掛一艘毎の代

金六十八文と並く船賃銀二百文と並く何ヶ掛一艘毎の代

金六十八文と並く船賃銀二百文と並く何ヶ掛一艘毎の代

答曰 金お座六十三文六分

薪お座九文

御田金銀お座の若くは五十四文六分と並く金六十八文と並く



[illegible]

今薪四十掛の割賃九匁六分より銀百二十六匁と算く一掛の月賃  
五百又久の薪を買と見右より割賃を加へ二十五掛と云ふ抄お坊  
何れと云

答曰 錢相應九名方分



綢田の女六分と四十ヶに除き一掛月二ヶにりとも①下とり又  
銀百二十ヶ分と新廿五掛に除き女四ヶにとり内①下と減し余り  
に女八分とありと一ヶに代銀五百文とあり除き残おる女六ヶと  
ありとあり

絹布之賣買

一箇を主の代銀五十目より三十五正の代銀とる

答曰 代銀を賣七百五ヶ分

綢田五拾目と並絹敷三十五正とあり代銀一ヶ七百五ヶ分とあり

一布一反付八分より銀五百二十目何程とる

答曰 布敷六十五反

綢田布一反より代銀八分とあり銀五百二十分とる布敷六  
十五反とあり

一銀五百二十目とあり布敷六十五反と買とる一反付代銀何とる

答曰 一反より代銀八分

綢田銀五百二十分と並布一反六ヶ分とあり除き一反より代銀  
八分とあり

一布一反付九分五ヶ分とあり何とる

答曰 一尺より二ヶ八厘

綢田より代銀九分五ヶ分と並布長さ二丈五尺と割り一尺より三ヶ  
分とあり



又子綳曰を反て代銀九匁五分と定法四と乘して一尺に代銀を  
知るなり

今人の丈と三尺六寸五匁と着振る市の惣長さを積ると尺の倍他  
積するく別て又横らして市の長さを一匁より知るなり

答曰 二丈五尺五寸五匁

綳曰丈と三尺六寸五匁と乘て定法七と乘して惣長さを知るなり  
一縮を五十八匁五分とて一尺に付何なりと問

答曰 五尺三寸一匁一か七り

綳曰一尺に代銀五十八匁五分と乘て一丈のものを五丈に除け一尺の  
代銀を知るなり

又略卑綳曰五十八匁五分と定法二と乘して一尺の代を知るなり

一市長さ五尺五寸に代銀五匁五分とて八尺の代銀何なりと問

答曰 代銀二十四匁

綳曰代銀五匁五分と乘て八尺と乘して百廿二匁となる五尺五寸  
除てその代銀二十匁となるなり

一丈四方の縮代銀と十五匁とて長さ五尺五寸巾八寸に代銀  
何なりと問

答曰 代銀九十八匁

綳曰長さ五尺五寸巾八寸とおもて二歩八寸とおもて十五匁と乘  
其代銀九十八匁と知るなり



一長五尺巾二尺五寸の絹に代限に十五ふより長六尺巾二尺の代をい何なりと云

答曰 代限四十三ふ二分

例曰永六尺巾二尺おきして十二歩ふに十五ふをふし五百にけふとも実より長五尺巾二尺五寸をふし十二ふと法してて実を除き其代限四十三ふ二分とあるなり

今一尺四方の絹の代限八十ふのものと限三ふ三百八十八ふと實絹何尺四方と云

答曰 方六尺五寸角

例曰限三ふ三百八十八ふと垂一尺と代限八十ふと何と限との

四十二ふ二ふとも同平方六尺五寸づ四方と云

今上下絹合して五百十六疋あり上絹一疋と代限六十八ふ下絹を足して代限六十八ふと上下絹の代限各等しく積る所は何疋と云

答曰 等限より六ふ五百九十二ふ

例曰絹敷五百十六疋と垂て上並限六十八ふと下並限六十八ふとふし二千四百四十ふ三百六十八ふと云実として上下絹並限合して百二十九ふと法してて実を除き等限より十六ふ五百九十二ふとあるなり

一餘尺として二丈六尺四寸ある布を曲尺と異振尺とを以て量るるから時各々何なりと云



答曰 呉振尺より五尺  
曲尺より二丈七尺

綱目二丈六尺四寸と定法十六除して一尺六寸五アと又若厘の  
より八尺と又定法五アと又累減して余り五アと又尺呉振尺で  
五尺と知る人し是又九寸五アと糸一尺八寸とより二丈六尺四  
寸と減り余り二丈一尺六寸と又定法十寸と又除之ハ曲尺を二丈七尺と知  
一銀尺五寸糸目方五十目之の相目方廿五あり又銀十寸付  
目方三十五あり糸目方七十目あり右二尺糸を二尺と知  
十寸糸目方何なりと問

答曰 三指八尺に六厘余

綱目糸目方五十ありと又二十ありと除き六分と又又廿五ありと又

七十ありと除き二箇と又二に合して二箇六分と又又銀拾ありと  
除けり平均並段の目方三十八ありに六厘余とありなり

尺並一さん

- 一曲尺と籙尺と並に尺の曲尺の數は八とあるなり
- 一籙尺と曲尺と並に尺の籙尺の數は八と除くなり
- 一うづら尺と呉振尺と並に尺のうづら尺の數は九六と除くなり
- 一呉振尺とうづら尺と並に尺の呉振尺の數は九六と糸一とあり
- 一曲尺と呉振尺と並に尺の曲尺の數は一二と糸一とあり
- 一呉振尺と曲尺と並に尺の呉振尺の數は一二と糸一とあり

茶賣買くら度



一茶一斤三匁五分と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云

答曰 代銀五十二匁五分

御田茶五匁三匁五分と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
二匁五分と云ふ茶なり

一茶を斤二匁五分と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云

答曰 茶を十四斤

御田茶五匁三匁五分と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
茶を五斤と云ふ茶なり

一銀五十二匁五分と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
茶を五斤と云ふ茶なり

御田茶の斤数十五斤と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
一斤の代銀三匁五分と云ふ茶なり

一茶目方百二十目と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
二匁より上茶目二斤と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
三匁より上茶目二斤と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云

答曰 残お庭九匁五分  
上一斤 三匁一分二厘五  
下一斤 一匁四分六厘七五

御田茶三十二斤、上茶を五匁五分と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
二百五十匁と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云  
廿目と云ふ茶を五斤と云ふ代銀何程と云



残百の九六と糸し五十に女一分のりし毛とみ実と以残七十二文  
 同方二百五十文と世二斤と累糸と五文百六十文とみ以て実  
 除き残お九文に女一分とみ又き五文を同方二百五十文と糸し  
 又除き上一斤と代三文を二斤と五文と糸し又残七十二文と九文  
 除けり七十五文と糸残お九文に女一分と糸し七分の五毛と糸同方二百五  
 十文と糸し百二十同と除き八十一斤と代銀一文に女一分と八十五と糸なり  
 一糸を斤と付銀二文三分久しく金と糸と糸一文と糸二斤  
 賣なり此小賣残二十文と糸同方廿五文と糸し金残お各々  
 何程と糸 但しを斤と同方 二百五十文

答曰 金相庭六十四文四分

残お庭九文二分

御同残一文と糸し九六と糸し丁沙九百六十文とみ小賣の同方廿五文  
 と糸し二百に十同と糸し①糸と糸小賣残廿五文と糸し同方二百五  
 十同と糸し六十文と糸し①糸と糸除き二斤と糸し世二斤の内減し  
 余廿八斤と糸し一斤と代銀二文三分と糸し金一両と糸し金お庭  
 六十に女一分と糸し又三十二斤と二文と糸し七十五文と糸し  
 内令お六十に女一分と糸し金一両と糸し金お庭九文二分と糸し

酒賣 并仕

一酒を升と付百六十文と糸し三斗八升の代残何程と糸

答曰 残お六文三百三十二文



例曰一升付百六十文と並丁残さく百六十文とみ酒を三升  
八升と添く六メ。八十文とみ九六をいへる又の酒を添く惣残る  
六メ三百三十二文とありなり

一残る六メ五百六十文と似く酒三升五升と買とき一升付何れと向

答曰 百八十文

例曰残る六メ五百六十文と並百文より上へ九六とみさく丁残六メ  
三百文とみ酒を三升五升と除く百八十文とあり九六と並く百八十  
文と知るなり

一上酒を升代銀二メ八分下酒一升代銀をメ貳分右の二に合さく  
を升付をメ六分の酒揃うと似く上下く酒何れ内交ると向

答曰

上酒 二合五夕

下酒 七合五夕

例曰下酒二メ八分を似く一メ六分を減しぼくみ実と上酒二メ八分  
の内下酒をメ二分を減く一メ六分とみいへる實を添け上酒二合五  
夕とみいへる升を減く下酒七合五夕とありなり

一を升付二メ五分の酒三升五升あり此をへる升付一メ二分と  
酒と何れ加へるを升付二メの酒とありと向

答曰 二メ二分と酒二斗一升八合七夕五才

例曰上酒二メ五分の内加へるの二メと減く五分とみ三升五升と添  
十七メ五分とみ實とを加へる酒二メの内下酒一メ二分と似く八分とあり



ぬく実と除き加酒二斗一升八合七勺五升と知るなり

一上酒を右六斗下酒二石五斗く代金おきしより金をおき付  
上酒より下酒ハ一斗は升に合安し金をおき上下の酒を何程と向

答曰 上酒 二斗五升六合  
下酒 四斗

御曰上酒を右六斗と垂て上下酒の差ハ一斗は升に合とほ二石  
三斗。は合と必実とて上下酒の差九斗とぬく除之上酒二斗五  
升六合と知るなり

一米二石二斗五升とて酒と造ると此米を升付麹六合を加ふ  
ちり此麹を升式合とぬく米を升と買ふなり此米を右内引

拂き造る米を各何程と向

造米 米石五斗  
此麹 九斗

麹留米 七斗五升

御曰米を二石二斗五升並麹米を升二合とほ二石七斗と必  
実とハ麹米を升二合六合を加へ一升八合と必法とてぬく  
実と除き酒造米を升五升と知るなり六合をほ麹九斗と必升  
二合と除き留米七斗五升と知るなり

一米百九十石とて一斗二斗三斗四斗の酒を三斗の酒と造る  
と此米を右六斗五升ハ亦米を右付麹二石五斗と造る此米石の  
右米を右内引拂き造る二三四斗の酒を各何程と向



一 藁米 三石五斗  
 此 藁 七石七斗五升  
 此 藁米 一石二斗五升  
 二 藁米 十石五斗  
 此 藁 五石二斗五升  
 此 藁米 三石七斗五升  
 三 藁米 卅一石五斗  
 此 藁 十五石七斗五升  
 此 藁米 十一石二斗五升  
 四 藁米 九十石五斗  
 此 藁 四十七石二斗五升  
 此 藁米 三十三石七斗五升

答曰

御田留米を石四斗、藁五斗を加えて石九斗と仮に三倍取一三九斗  
 七合とて四十とありを石九斗と仮し七十石と仮法とて米を百九

十石又留米一石四斗と仮し二百六十石とあり実と仮法とて  
 除之を藁米三石五斗とありとて五斗を仮し藁を石七斗五升と  
 あり一石四斗、除之留米一石二斗五升とあり也右三斗と米を五  
 斗と仮しとて三斗とありとて米を五斗とありとて

煙草賣買

一 麦斤身銀一石五斗、田を八斤六斗、代銀何程とあり

答曰 代銀十二石九斗

御田を斤代銀一石五斗、八斤六斗とありとて十二石九斗とあり

一 銀二十三石一分、一斤、身一石、代銀何斤、買ふとあり

答曰 代銀六斤半



御田を斤く代銀をぬにふとぬる銀二十三匁をふと除き十六  
斤五匁とあるなり

一銀三十二匁五匁とぬるたむと二十五斤買ふと死き斤く  
代銀何程とぬ

答曰 き斤代きぬ三匁

御田二十五斤とぬる銀三十二匁五匁と除き一斤く代銀  
きぬとふとあるなり

一き斤三匁ぬ八匁とぬるたむと買方百匁うふと死何程とぬ

答曰 きぬ七匁五匁

御田を斤く代銀二匁八匁と一斤く買方百六十匁と除ききぬ

七分ありとあるなり

一田筆粉八十二斤あり折斤三付同方は折ぬぐ入添を右内引  
ちきき斤く代銀をぬ八匁とぬるたむと熱代銀何程とぬ

答曰 熱代銀百匁十匁

御田折斤百十匁と並同中同計と一斤く同方百六十匁と除き十斤  
〇二匁とぬる八十二斤と除き八十八斤とある一斤く代銀をぬ  
八匁とぬるたむと熱代銀百匁十匁とあるなり

一上たむと百十二斤下田筆粉二百九十斤此代金令と十匁  
三あ上たむの令とあふ八斤安し令とあ上下同とく代銀各何程とぬ

答曰 上たむ三十二斤  
下たむ四十四斤



御田代令おま三歩 ニアは永と並上下の差ハ八斤と除八十斤七五と並  
とぬ①千と八斤上十斤敷合さる四百〇二斤と減し三百十斤  
とるを折半さる百五十八斤とる②千とと自糸さる二万に九  
百六十斤とぬ③千とと④千八十六斤上百十二斤とぬし九千六百三  
十二斤とぬ加へ三万に五五百九十六とぬ算要方百八十六とぬ⑤千を加へ  
三百四十斤とぬ代令十ぬ三アとぬ除之令ぬ付上世二斤とる  
一たを同方百ぬとぬとぬさる徑五寸のとのぬ又列一斤とぬとぬ  
並さる何程とぬ

善田 六寸三分二厘四五余

御田同方百ぬとぬ一十の同百六十ぬと除さ一箇ウアとぬ算要方

一二六四九一余とる五寸と除六寸と二に五余とる也

唐目斤早掛割 乃百六十目斤

<small>同方と斤敷と並り おさん</small>		<small>斤敷と同方と並り おさん</small>	
一退六二五	六三七五	一退一六	六退九六
二一五	七四三七五	二退三二	七退一一二
三一八七五	八作五	三退四八	八退一二八
四二五	九五六二五	四退六四	九退一四四

右早うけ割の法ハ藥種田算粉給令限銅鉄給さる百六十同の斤  
さる用さるおさ用さる又さる云々をさる令おさ早割と用さる  
一回算粉同方さる八百五十五ぬありぬの斤敷何程とぬ

善田 折さる斤五十六二五







五寸とみぬく代張二十寸内減九寸五分とみ十六品と  
五十粒とみじく惣代張七寸七厘二十寸とみさう

今たぬの平玉の周方百寸ありその徑とぬぐみき升と  
同方九寸の通とくさく要玉とみぬる時ハ初の玉より徑の  
まきと一寸五アあり初後玉の徑何れと白

善田 初玉徑五寸 後玉徑六寸五ア

例曰一斤の周方百六十寸とぬれとくさく百六十寸とぬる  
百六十寸とぬ一ヶ六れとみ算方一ヶとみ内定一と減一余り  
とアとみぬく一寸五アを除き初玉平徑五寸とみさう

摘要算法卷之一終



摘要算法

五寸とみぬく内減九寸とみ十六品と  
五十種とみじく惣代銀七十七兩二十とあるなり

今たぬきの平玉の同方面ぬきなりその徑とぬきぬき  
同方ぬきの通とぬきぬき要ぬきぬきぬきぬきの  
ぬきぬき一寸五アなり初後平玉の徑何なりとぬき

善田 初玉徑五寸 後玉徑六寸五ア

例田一斤の同方面六十ぬきぬきぬきぬきぬきぬき  
六十ぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬき  
とアとみぬき一寸五アを除き初玉平徑五寸とぬき

摘要算法卷之一終

Alloy

133



